

平成29年（2017年）11月21日

保護者の皆様

札幌市立南月寒小学校
校長 岡田 知之

平成29年度『全国学力・学習状況調査』 本校の結果概要及び改善について

暮秋の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に温かいご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、平成29年4月18日（火）に、全国の6年生を対象に『全国学力・学習状況調査』が実施されました。本調査は、全国的な児童の学力や学習状況を把握・分析し、その改善を図るとともに、学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に実施しています。

本校においても6年生児童が調査を実施し、その結果がまとまりましたので、以下、結果の概要及び改善策についてお知らせいたします。

本校では、「学ぶ力の育成」を学校課題の一つとして捉え、子どもに確かな「基礎的・基本的な知識・技能」を身に付けるとともに、「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力等」の学力をバランスよく育むことを目指し、学習指導の改善に努めています。今後も、本調査における本校の結果を踏まえ、学習指導の改善・充実に取り組んでいきます。

『全国学力・学習状況調査』 調査内容

（1）教科に関する調査

①主として「知識」に関する問題・・・【国語A】／【算数A】

- ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能

②主として「活用」に関する問題・・・【国語B】／【算数B】

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

（2）生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

本校の概要

主として「知識」に関する問題
〔国 語 A〕

- 「話すこと・聞くこと」領域
全国平均を上回っています。
- 「書くこと」領域
全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っています。
- 「読むこと」領域
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っています。
- 「言語事項」
全国平均を下回っています。

主として「活用」に関する問題
〔国 語 B〕

- 「話すこと・聞くこと」領域
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っています。
- 「書くこと」領域
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っています。
- 「読むこと」領域
全国平均を下回っています。

調査における課題

- 目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことに課題があります。
- ことわざの意味理解について課題があります。
- 漢字配当表に記されている漢字を正しく書くことに課題があります。
- 話の構成を工夫して話したり、聞き手の反応を見て話したりすることができる工夫を捉えることに課題があります。
- 目的や意図に応じて、他の文章を引用して書くことに課題があります。
- 自分の考えを広げたり深めたりするために、他者の考えの意図を捉えることに課題があります。

改善の方向

- 調べる目的や事柄に応じて、本や新聞、インターネットなどの様々なメディアから、中心となる語や文を捉え、必要な情報を選択できるよう指導します。
- 習得した漢字やことわざを、日常的に文や文章の中で適切に使うように指導します。
- 目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように、スピーチメモを活用しながら話す内容や構成を工夫したり見直したりできるよう指導します。
- 自分の考えを説得力をもって伝えるために、本や文章などから必要な語句や文を引用することができるよう指導します。
- 物語を読んで感想を伝え合う場を設定し、自分の考えとの共通点や相違点を捉えることができるよう指導します。

算 数

本校の結果概要及び改善の方向等

本校の概要

主として「知識」に関する問題
〔算 数 A〕

- 「数と計算」領域
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っています。
- 「量と測定」領域
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っています。
- 「図 形」領域
全国平均を下回っています。
- 「数量関係」領域
全国平均を下回っています。

主として「活用」に関する問題
〔算 数 B〕

- 「数と計算」領域
全国平均を下回っています。
- 「量と測定」領域
全国平均を下回っています。
- 「図 形」領域
全国平均を上回っています。
- 「数量関係」領域
全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っています。

調査における課題

- 整数や小数の加法や乗法の計算や四則計算の技能に課題があります。
- 小数の乗法において、数量の関係を捉えることや、乗法の性質の理解に課題があります。
- 正多角形の構成や性質の理解に課題があります。
- 資料を二次元表に分類整理することや、二次元表の合計欄の意味理解に課題があります。
- 示された方法から数学的な意味を見出し、条件の異なる場面に適用して考えることに課題があります。
- 目的に応じて適切なグラフを選択し表現することに課題があります。
- 問題場面を割合を活用して解釈し、自分の判断の理由を言葉や式を用いて表現することに課題があります。

改善の方向

- 整数や小数の計算が確実にできるよう、適時練習の機会を設けて指導します。
- 図や数直線を用いて数量関係を表すことを通して、計算の意味と仕方を関連付けて理解できるように指導します。
- 正多角形の構成や分解など、操作活動を取り入れた算数的な活動を大切に指導します。
- 資料を二次元表を用いて分類整理したり、合計の数値に着目して確かめたりする指導を図ります。
- 問題場面や自分の考えを図や数直線、式、言葉などで表現する「学び方・考え方」を、日常の算数の学習において大切に指導します。
- 自分や友達の考えの根拠になることや、共通点、違いなどについて、図や数直線、式、言葉などで友達に説明したり、友達の説明を聞いたりする「学び合い」を大切に指導します。

質問紙調査

本校の結果概要

〔全国平均と比較し差の見られた項目〕

学習意欲や学習方法	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「国語の勉強が好き」と答えている児童の割合が、全国平均よりも上回っています。 <input type="checkbox"/> 「算数の勉強は大切」と答えている児童の割合が、全国平均よりも下回っています。 <input type="checkbox"/> 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい」と答えている児童の割合が全国平均よりも下回っています。 <input type="checkbox"/> 「算数で学習したことは、将来役に立つ」と答えている児童の割合が全国平均よりも下回っています。 <input type="checkbox"/> 「自分の考えを説明したり、文章に書いたりするのは難しい」と答えている児童の割合が全国平均よりも下回っています。 <input type="checkbox"/> 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができている」と答えている児童の割合が全国平均よりも下回っています。
家庭での学習	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「家で計画を立てて勉強をしている」と答えている児童の割合が、全国平均よりも下回っています。 <input type="checkbox"/> 「家で学校の授業の復習をしている、学校の宿題をしている」と答えている児童の割合が、全国平均よりも下回っています。
家庭での生活	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 普段、1日当たりのテレビゲーム（パソコン・携帯ゲーム機・携帯電話やスマートフォンのゲームも含む）をしている時間や、携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをしている時間が、全国平均よりも長いです。 <input type="checkbox"/> 普段、1日当たりの読書をしている時間が、全国平均よりも長いです。 <input type="checkbox"/> 「家の人と学校での出来事について話をする」と答えている児童の割合が、全国平均よりも下回っています。 <input type="checkbox"/> 「テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めている」と答えている児童の割合が、全国平均よりも下回っています。 <input type="checkbox"/> 「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と答えている児童の割合が、全国平均よりも下回っています。
地域との関わり 自己意識	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と答えている児童の割合が、全国平均よりも上回っています。 <input type="checkbox"/> 「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意」と答えている児童の割合が、全国平均よりも上回っています。 <input type="checkbox"/> 「将来の夢や目標をもっている」と答えている児童の割合が、全国平均よりも下回っています。 <input type="checkbox"/> 「授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしている」と答えている児童の割合が、全国平均よりも下回っています。 <input type="checkbox"/> 「地域の行事に参加している」「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりする」と答えている児童の割合が、全国平均よりも下回っています。

- 「国語」は、調査結果からも全国平均とほぼ同程度であり、自信をもって国語の学習に取り組んでいることが分かりました。しかし、言語事項の習得については学校全体の課題として捉え、「改善の方向」に記載した指導を全校で取り組んでいきます。「算数」では、主体的に問題を解決しようとする意欲とともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得状況にも課題があることが分かりました。「やってみたい」「解いてみたい」という動機付けを大切にした授業改善を図り、主体的に問題を解決しようとする意欲や態度を育てるとともに、知識・技能の確実な定着を図っていきます。また、学習展開において、自分の考えを友達に説明したり、友達の考えから学んだりする時間を大切にしていきます。
- 失敗を恐れず何事にも挑戦しようとする意欲は、本校児童のよさと捉えています。今後も様々な行事や活動の中で、子どもの「自己肯定感」を高める指導を継続していきます。
- 家庭での計画的な学習については課題として残りました。教育委員会より出されたリーフレット「さっぽろっこ学びのススメ」も活用しながら、今後も全学年で家庭学習の指導を継続していきます。
- 家庭でゲームをする時間やスマートフォン等による通話・メールをする時間が全国平均よりも長い実態が分かりました。ゲームの時間やインターネット等の利用時間については、インターネットやSNSを利用する際のモラルや危険性なども含め、学校でも子どもたちに考えさせていきます。